

## 南会津のうりんニュース発行にあたって

昨年までの農政事務所、農地事務所、林業事務所、そして農業改良普及センターの4事務所を合わせ、4月から、総合化した事務所として南会津農林事務所がスタートしました。

農林事務所は、従来の独立した事務所の仕事を、地域の皆様の要望に沿った形で、しかも効率的、効果的に進められるようにしようと、新しく一つ事務所に総合されたものです。

農林事務所の仕事の一つに、農政・農地・林業・普及部門の一体的な情報を収集し皆様に提供する

## 今月のピックアップ

### ○親子で森林の大切さを学ぶ

5月9日、田島町中荒井荒海財産区有林及び同系沢の野外活動センターにおいて、第12回「親子緑の教室」を開催した。

本教室は、親子で自然と親しみながら緑や森林の大切さを学ぶことを目的に毎年行っており、今年で12回目を数える。

当日は、南会津郡内から63家族170名が参加し、「森をつくる」と題してコナラの苗木の植林、フラワースタンドの木工や草花のパウチングなどが行われた。

### ○「山の幸まつり」、「山菜料理教室」を開催

「南会津地方を緑と水の源泉地域として林業振興を図る会議」の協力を得て、山菜の保護と利用を目的として以下2つの行事を行った。

#### ・「山の幸まつり」

5月24日、只見町塩沢の農村公園を中心会場に開催した。持続的な森林資源の利用のために山菜採取のマナーを守ってもらおうと、県内外からの山菜採取者に対し指導を行った。また、観光ワラビ園を管理・運営している塩沢・十島両地区の森林所有者を対象に、山菜を活用した地域振興の取り組みについての学習会も実施した。

#### ・「山菜料理教室」

5月27日、下郷町ふれあいセンターにおいて

る広報活動があります。

本誌は、管内外の農林業等に関するトピックス、各種研修会・講習会開催の案内、管内の農林業、農林事務所の仕事の内容を理解してもらうための特集記事や地域の農林業等の分野で活躍している人たちの活動等を紹介し、地域の農林業の活性化に役立つようにと、毎月発行を予定しております。

今後、読者の意見交換の場としての役割も持たせたいと考えておりますので、感想、ご意見等をお寄せいただければ幸いです。



親子緑の教室 コナラの植林

森林林業部と普及部の連携のもとで開催した。

田島町・下郷町の生活改善グループ員13名が参加し「山菜のそば粉揚げ」など山菜と地元食材を組み合わせた料理4品の作り方を学んだ。

### ○会津地鶏の飼育始まる

4月から5月にかけて、下郷町の2戸の農家に会津地鶏の雛計800羽が導入され飼育されている。また、7月上旬には只見町の2戸の農家に同じく計800羽の雛が導入される予定。雛は県養鶏試験場から供給されており、飼育期間約110日で出荷をむかえる。

昨年5月に会津地鶏定着化推進協議会が設立され、協議会の関係機関・団体及び飼養農家が一丸となって地域特産品としての定着化に向け推進しているが、最近では「どこで肉が買えるのか」等

の問い合わせの電話も多くなり、販売量は着実に増えているとのこと。

現在のところ、下郷町物産館において会津地鶏肉の販売を行っている。また、会津若松市1軒、下郷町2軒において常時、会津地鶏の料理を提供している。

### ○施設導入により5月から出荷～りんどう～

冬季間積雪が多く、施設の導入が進まなかった南会津のリンドウ栽培であったが、昨年より一部の農家で加温機を導入して半促成栽培が試みられ

るようになった。

本年は、1月下旬に除雪・ハウス被覆を行い、2月下旬から加温を始めた結果、南会津では初めての5月中旬からの出荷開始となり今月がピークとなる。市場では、希少価値もあってか好評で、高値で取り引きされた。また、本年は暖冬であったため、暖房費もそう多くかからず管理することができた。

今後、この作型が確立すれば、リンドウの作期の幅が広がり、経営規模の拡大と併せて産地の発展が期待される。

## 特集！グリーン・ツーリズム～南会津での可能性～

グリーン・ツーリズムとは、農村に滞在し、その地域の自然・文化・人々とふれあい、体験する余暇の過ごし方のことです。

グリーン・ツーリズムと一口に言っても決まった型のようなものは無く、現在、全国各地で様々なイベントや取り組みが行われています。

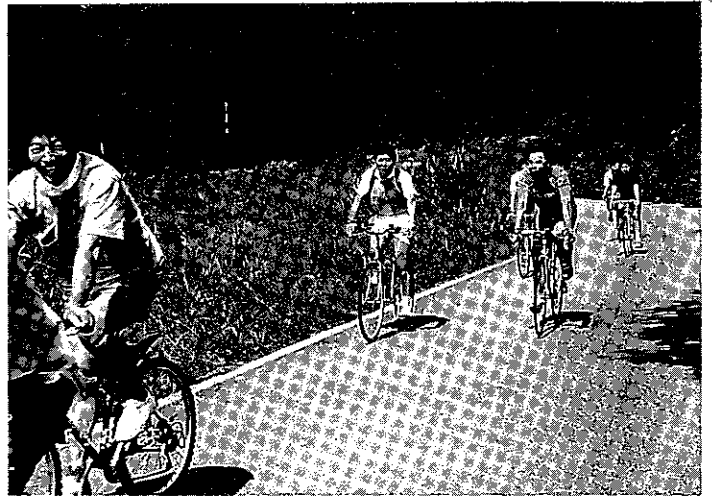
当南会津においては、平成7年11月に、管内各町村、県関係出先機関等で構成する「南会津地方グリーン・ツーリズム推進協議会」を発足し、以後推進大会の開催や啓蒙資料・パンフレットの作成などを行ってきました。また民間団体の「南会津グリーンストッククラブ」は昨年10月に「南会津グリーンツーリズム国際大会」を開催し、併せて持続可能な地域の発展とツーリズムを目指して実施している「トレイン&バイク」を今後も継続して実施する予定です。さらに、各町村・団体毎にそれぞれ様々な取り組みが行われています。

グリーンツーリズムの先進地といわれる地域へは、毎年全国各地からかなりの数のお客さんが来ると聞きます。それだけ都市住民の自然志向・農村志向といったニーズがあるようです。

例えば「郷土料理を食べてみたい」、「もぎたての完熟トマトを丸かじりしてみたい」、「美しい景色の中を歩いてみたい」、「そば打ちを体験してみたい」等、農村の自然や伝統文化を体験したいという人もいれば、「ただ何もせずぼーっとしている」だけでいいという人もいます。

都市住民のニーズを全てここに書き記すことは不可能ですが、南会津にはこれらニーズに答えるものが十分そろっていると思います。

グリーン・ツーリズムを推進していく上で大切なのは、矛盾するようですがグリーン・ツーリス



トレイン&バイク 舘岩村にて

ムだけを目的としないことだと思います。グリーン・ツーリズムの体験や宿泊を通じて都市と農村の人々との交流を生み、農村の人々が都市の人々に対し自分達の親戚を迎えるように接することにより信頼が生まれ、繰り返し毎年来てもらえるようになる。さらに人と人のつながりから季節の野菜を産地直売したり、本当にその地域が好きになったら住み着いてしまう人がいるかもしれません。つまり、地域全体の活性化を考えた中の方策としてグリーン・ツーリズムが位置づけられると思います。

今後、地域の皆様方の積極的な活動を期待しますとともに、行政としてはできる限りの支援をしていく所存でございます。また、御不明な点があれば御遠慮なく農林事務所までお問い合わせ下さい。

## 研修会・講習会のお知らせ

### ○会津農業センター短期研修（花きコース）公開講座

「日本一のリンドウ産地」を抱える岩手県の農業研究センターの花き研究室長をお招きして、講義と現地ほ場検討会が下郷町で行われます。公開講座ですので、一般の方でも参加自由です。お問い合わせのうえ、お申し込み下さい。

- 1 開催日時 平成10年7月8日（水）10：30～15：00
- 2 場 所 下郷町 下郷ふれあいセンター研修室
- 3 内 容 「リンドウの生理生態」
- 4 受講料 無 料
- 5 申込み先 南会津地域農業改良普及センター TEL 0241-62-5262

### ○今後予定されている各種研修会

内 容	日 時	場 所
<b>会津農業センター短期研修</b> ①水稲大規模直播ほ場の現地視察他 ②トマトの栽培技術他 ③アスパラガスの三期取り栽培 ④リンゴの先進技術(新しい性台木他) ⑤リンゴの先進技術(ハダニの防除法他) ⑥シュッコンカスミソウの生理生態 ⑦肉用肥育牛とビタミンA ⑧女性起業の実践事例視察研修	8月下旬 7月2日 8月下旬 7月上旬 8月上旬 8月下旬 6月下旬 7月上旬	会津農業センター内 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
<b>農業短期大学校研修</b> ①農業機械研修（トラクタけん引） ②畜産課題研修（混合飼料・TMRの特性と利用技術） ③緑の学園（高校3年生を対象） ④農業機械研修（トラクタ基本運転）	7/6～10 7/9 7/28～30 8/24～27	農業短期大学校内 〃 〃 〃
<b>南会津地方経営管理向上講座</b> （南会津地域農業改良普及センター主催） ①初級講座：複式簿記記帳の仕方 他 ②中級講座：経営改善のポイント、資金運用の工夫 税務対策 他	7月下旬～	田島町内 及び南郷村内

※一部の研修を除きどなたでも受講できますが、募集人員に限りがあるため、お早めにお申し込み下さい。

※お申し込みお問い合わせ先：南会津地域農業改良普及センター TEL 0241-62-5262

## 3ヶ月予報

### 仙台管区気象台発表の「東北地方 3ヶ月予報」

- 6月 気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多くなるでしょう。  
平均気温は、平年より高い可能性が大きい見込み。  
降水量は、日本海側で多く、太平洋側では少ない可能性が大きい見込み。  
日照時間は、平年並みの可能性が大きい見込み。
- 7月 平年と同様に曇りや雨の日が多い  
気温、降水量は共に平年並の可能性が大きい。
- 8月 平年と同様に晴れる日が多い。  
気温、降水量は共に平年並の可能性が大きい。

## 志

～この道を行けばどうなるものか、危ぶむなかれ、危ぶめば道なし。  
踏み出せば、その一足が道となる。迷わず行けよ、行けばわかるよ。～  
一休禅師

「行けばわかるよ」よろしく13年ぶりの南会津勤務となる。  
豊かな自然、厚い人情に変化なし。  
しかし、人口の減も高齢化、後継者不足も今なお進行中。  
さらに近年、管内の入り込み客も右肩下がりとか…。  
さーどうする。嘆き節は不要。取り組む課題は多い。  
南会津住民の期待もまた大。  
ともかく、新農林事務所は踏み出した。道を見つけなければ。  
「山美しく、人住まず」では困るのだ。  
どうすれば、活性化、活性化の日々である。

(所長 横田泰助)

## 生活の知恵

<砂糖がかちかちに固まってしまったら>

砂糖をいざ使おうとしたらかちかちに固まっていたという経験はありませんか？

そういう時は、食パンを一口サイズにちぎって砂糖つぼの中に入れてみて下さい。5、6時間でさらさらの砂糖によみがえります。

砂糖は水分が少し不足すると、砂糖の粒子が連結されて固まり始め、ついには大きな固まりになってしまいます。適度な水分が含まれている食パンを入れることで、水分バランスが整えられるため、連結がほどけてバラバラになります。

みなさんのご意見ご感想をお寄せください。  
郵便・FAXどちらでも結構です。

あて先

〒967-0004

南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1  
南会津農林事務所企画部

地域農林企画室 担当：高泉、松澤

TEL 0241-62-5866

FAX 0241-62-5349